

# 医院だより

令和2年2月 (No199)

秋山医院

藤岡市小林748-8

☎0274-22-8315



**二月** 別名 如月(きさらぎ)・建卯月(けんぼうげつ)・仲春(もうしゅん)、令月、初花月、梅美月。如月は「衣更着」。寒いので着るものをさらに増やす月という意味と、暖かくなり脱いだ着物を寒の戻りでもう一度着込むからという意味もあるとのこと。如月は中国での二月の異称、『如』に随従の意あるところから『一月の後に続いて』の意か？

河出書房新社、鈴木充広書「暮らしに生かす旧暦ノート」、講談社カルチャーブックス365日「今日は何の日か？」(辞典より)

『二月の花』  
梅、マーガレット、オオイヌフグリ、寒椿、侘助など。

## 『二月の言葉』

聖書にいうところの『天にいますあなた方の父が完全であるようにあなたがたも完全であるべきである』(マタイ五・四八)とは神の絶対的完全に達すべきだということではなく、神が神であるように人も人として完全であるべきだということである。完全な馬とは人のように物を言い、人のように思惟する馬をいうのではなく、馬が馬としての用を完全になすものをいうのである。したがって人に罪があるというのは、人が人としての完全を欠くということである。キリスト教が義人は一人もいないというのは、このことをいうのである。神が私を責めるのは、私が雨を降らすことができず、日を輝かせることができないためではなくて、私は人を愛すべきなのに人を憎むからである。

(内村鑑三『一日一生』一月十九日)

## 『一月の暦』

一日 テレビ放送開始(一九五三)

三日 節分、豆まき

本来は、二十四節気の季節が移り変わる立春、立夏、立秋、立冬の前日のことであつたが、次第に春だけに用いるようになった。新暦二月三日ころにあたる。追儺(ついな)と呼ばれ、神社仏閣をはじめ一般家庭では、豆をまいて鬼を追い払い、福を招き入れる行事を行います。

※藤岡市鬼石町では町名に『鬼』の名がついたためか、『福は内、鬼は内』という掛け声で豆まきをするのと。

私の故郷、新潟県南魚沼市の一僻村には『阿部姓』の家があり、その家では『福は内、鬼も内』といつて撒くのだと聞いたことがあります。前九年の役で源頼義(五代後が、源頼朝)が奥州安倍貞任・宗任を破りその時各地に散らばつた人たちが『阿部氏』の先祖といわれ、朝廷側

から『鬼』と呼ばれて追い払われたため、祖先を追い払う気持ちになれず『鬼も内』と言って豆撒きをするのだと聞きました。

それにしても、朝廷、源氏に滅ぼされた安倍氏は奥州藤原氏に命脈をつなぎ、百年後同じ源氏の頼朝に攻められ、滅亡した、しかし「安倍氏」は千年後、一国の総理大臣を生むことになつたと興味深い。

四日 立春

海苔の日。産地諸国物産の一つとして記録に残るのが大宝元年(701年)。大宝律令が施行されたこの日を海苔の日とした(昭和55年)

七日 北方領土の日

八日 初午

二月の第一の午の日を初午と言い、各地の稲荷神社では祭典を行います。稲荷神社は全国に約4万社あり、農業、漁業、商売、家庭円満にご利益があるとされ、京都市伏見区の伏見稲荷大社が総本社です。伏見稲荷によると、和銅4年(711年)の2月の最初の午の日に、祭神が稲荷山(伊奈利山)の三箇峰に降りたという故事から、稲荷

神を祭る祭事が行われるようになったとされています。

九日 『ふくの日』河豚(ふく)の本場では、必ず「ふく」と発音する。福に転じて縁起を良くする。

十一日 建国記念の日(1966年、昭和41年制定)

二月十一日という日付は、1873年(明治6年)に定められ1948年(昭和23年)に廃止された紀元節と同じである。紀元節の日付は、『日本書紀』にある神武天皇が即位したとされる日(辛酉年春正月庚辰朔)に由来する。当時私は高校生だったが、強く反対する教師がいて授業中に語っていた。



『古事記』『日本書紀』は神話であつて事実ではない、神武天皇は、127歳とか137歳まで生きたとか書いてあるから信じられない、と言つておられた。『聖書』ではアダムは930年、その子セツは912年、その子エノシユは905年生きたと記されている。今の常識を根拠に過去を判じる姿勢は科学的にも正当ではない。オゾン層破壊による生命被害でもわかるように原始の時代は有害な宇宙線による影響が今よりも極度に少なかったことも考えられるのです。

十四日 聖バレンタインデー  
 十六日 日蓮上人誕生会  
 十七日 安吾忌  
 十八日 利休忌  
 十九日 雨水

旧暦正月寅の月の中気で新暦二月十八日ごろ。このころ雨水ぬるみ、草木が発芽する。

大塩平八郎の乱(一八三七)  
 大阪元町与力大塩平八郎とその一党100人が挙兵。半日後に鎮圧さ

れた。大阪市中五分の一が焼失。天保の飢饉で大阪でも餓死者が出る中、米商人は江戸に米を運び暴利を得た。自分の蔵書を売り払い、手に入れた600両を窮民に配り、大塩は幕府による救済を大阪奉行に嘆願したが聞き入れられず兵をあげた。大塩は挙兵から40日後に自決した。四十四歳。

二十日 水戸梅まつり  
 二十三日 天皇誕生日  
 二十四日 振替休日  
 二十五日 京都北野天満宮梅花祭

参考 鈴木充広著「暮らしに生かす旧暦ノート」河出書房  
 平成三十一年神宮館運勢暦(神宮館)  
 暮らしの歳時記365日『今日は何の日か?』講談社



## おしらせ

### 一、保険証の提示について

月の最初の受診時には、受付に保険証を提示ください。

### 二、診療案内

- 一般外来診療・往診・在宅医療
- 禁煙外来
- 骨粗鬆症の検査・治療
- ピロリ菌有無の検査と除菌
- OCT、MRI、PETの予約
- 胃カメラ・大腸カメラ
- 肺炎球菌・带状疱疹ワクチン

三、三月二十日(金)当番医で、朝9時から午後6時まで受け付けております。ご利用ください。

### 四、外来の一部予約制の利用について

外来の混雑でご迷惑をおかけしています。

待ち時間を減らす努力はいつも心がけておりますが、救急の人や重症な患者さんが多く、全員の予約制は取れない現状です。どうしても時間に制約がおりの方には

☆1時間2名ずつ、予約制で診療を行っておりますのでご利用ください。

前日までの診療時間内に来院されるか電話で受付けておりますので、ご利用ください。

なお、予約を取っていただいても重症者の処置などで予約時間内に診察できないこと

がありますが、医療機関としての事情をご理解いただきたく存じます。

ご意見、ご助言等ございましたら、玄関にあるご意見箱か、職員、院長までお話しただければ参考にさせていただきます。

#### 四、外来診療日の変更 **重要!**

四月から、(原則として)(木)の外来診療は中止し、胃・大腸内視鏡だけに致します。

これは外来での待ち時間を減らすための対応策として行うものです。

従来は毎朝八時半から、2〜3名の胃カメラを施行していましたが、これからは木曜日以外の内視鏡検査は、1〜2名とし、一般診療開始の時間を早めようとするものです。

**木曜日が受診に都合がいいという方もおられると考えられますので、最初は混乱があるかもしれません。ご理解をお願い致します。**



#### 五、群馬県保険医協会

二十四時間健康テレホン

電話〇二七―三三四―四九七〇

<http://www.raijin.com/kenko/>

月	歯がしみる
火	むくみ(浮腫)
水	子供のハミガキを成功させるコツ
木	爪の周りが化膿したら
金	口臭の予防
土	漢方の出番

ホトケノザ



四季の歌 作詞・作曲 荒木とよひさ

一 春を愛する人は 心清き人

すみれの花のような ぼくの友だち

二 夏を愛する人は 心強き人

岩をくたく波のような ぼくの父親

三 秋を愛する人は 心深き人

愛を語るハイネの様な ぼくの恋人

四 冬を愛する人は 心広き人

根雪をとかず大地のような ぼくの母親

昭和三十九年、日大芸術学部の学生だった荒木は、スキー事故で二年半という長い間、闘病生活を送ることになった。その時作曲したこの歌を世話になった看護師たちに捧げたという。歌は病院中で評判になり、やがて病院の外にも広がっていった。

昭和四十七年、偶然この曲を耳にした二つのレコード会社のディレクターが二人の女性の歌でレコード化し、その後ダークダックスも収録したが、いずれも話題にならなかったという。

昭和五十一年六月、ニッポン放送のラジオ生番組『あおぞらワイド』に横浜の主婦からリクエ

ストがきたが、司会の歌手立川清登(すみと)はこの歌を知らなかった。聞き返すといきなり主婦は電話の向こうでこの歌をうたいたしたとのこと。立川は感動し、ラジオで絶賛し、このことが大きな反響を呼びました。数社のレコード会社が『協作』という形でレコード化し、立川清登、菅原保徳など十人に及ぶ抒情歌手が顔をそろえたが、その5年前にこの歌に出会い、『私のテーマソングです』と、歌声喫茶やステージで歌っていた芹洋子が五十二年十一月にアルバム『四季の叙情』に収録して発表していました。

赤城覚満淵と大沼



そして翌年この『四季の歌』は、ミリオンセラーを記録することになったのです。

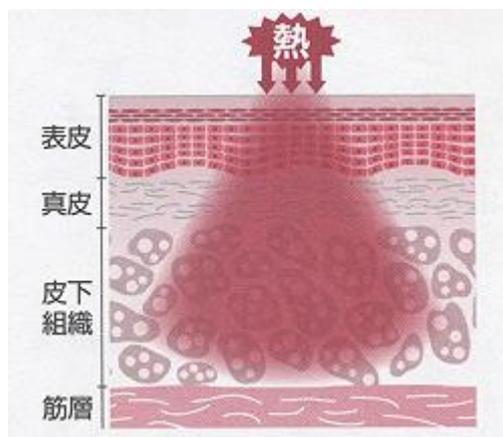
1980年代には中国でも人気を博し、1984年、中国の指導者胡耀邦は青年交歓活動として日本人青年3000人を中国に招待したが、後に習近平夫人となる彭麗媛(ほうれいえん)は、その歓迎パーティにい合わせて、芹洋子と日本語でこの歌を唄ったと言われている。また、芹と荒木はもともと知り合いだったのだが、芹はレコーディングの時に初めて荒木の作曲と知ったとのことである。荒木はその後作曲家として独立し、森昌子の『哀しみ本線日本海』、わらべの『めだかの兄妹』、テレサ・テンの『つぐない』『愛人』「時の流れに身をまかせ」などのヒット曲を手掛け作品数は2000曲以上に及んでいる。私の学生時代とも重なる懐かしさとともに、日中の友好関係が築かれていたあの時代が無性に恋しくなる。

学習研究社『私の心の歌冬』から一部引用

## けんこう (百二十三)

低温やけど

低温やけどは最初、ひりひりした感じがするのですが時間が共に熱が放射線状に広がって行き、深く、広い範囲に及ぶ重症のやけどとなります。



最初は水泡（水ぶくれ）だが



潰瘍を作り、なかなか治らない。



就寝中、高齢者、糖尿病患者に起きやすいといわれています。

一、低温やけどと温度の関係

① 温熱損傷は

45度で1時間、

70度では1秒

で組織の損傷が起きる。

44℃では6・10時間

② また44・51℃までのあいだは接触

する温度が高くなるにつれて受傷する

時間が短縮される場合もある。

二、低温やけどの原因

低温熱源とは

① 湯たんぼ

② 懐炉

③ ストープ

④ ホットカーペット

など、おもに暖房器具。

三、受傷者側の要因

① 熟睡

② 体が不自由

③ 知覚麻痺

④ 泥酔

⑤ 一酸化炭素中毒

⑥ 糖尿病による循環不良

などの状態にあると受傷しやすい。

⑦ その他、ホットカーペットに幼児を寝か

せ毛布をかぶせると熱中症にかかり

やすい。

ノートパソコンの使用に伴い、ひざに乗

せて使うことで本体底面部からの放

熱でひざが熱傷する

キーボードやパームレスト部からの放

熱で手のひらが、低温熱傷にかかる報

告があります。

四、予防

① 電気毛布

就寝時に電源を切る

② 湯たんぼ、電気あんか

就寝時には布団の中から取り出す。

\* 専用カバーや厚手のタオルに包んで

も、低温やけどを起こす可能性があり

ます。

③ 使い捨てカイロ

製品の取り扱い説明書の使用方法、使用

時間を守る。

・ 同じ部位に長時間貼り続けない

- ・ 肌に直接貼らない
- ・ ベルトやガードルなどで押し付けて使用しない。

(NHKテキストきょうの健康を参考)

浅間山



院長のひとりごと(百六十九)

なまえ

◇美空ひばり 一つ二つ漢字を読み始めたころ、箱膳を家族で並べて夕飯を食べていた時のこと、チラシか何かを読んで、『美空ひばり』：美しい空に飛ぶヒバリ、なんていい名前なんだろう、自分ももつといい名前が付けてもらいたかった、と文句を言った。この時初めて姉たちから本名のほかに『芸名』というものがあることを教わって、興奮してしまったことを思い出す。「ひばりさん」と同い年の二番目の姉は、まだ二十歳前だった。

◆50年目の真実 小学校の最初の受け持ちのときの先生のお名前は『留雄』さんであった。母や姉たちは、『いかにも末っ子らしい名前だね』と評して納得していた。ほかの家でも同じようなことが言われていたらしい。五十年後、当時の同級生と先生ご夫妻を長野市にご招待したことがあり、その晩お酒を酌み交わしていた時、『君たちは私の『留雄』は、私が末っ子だから留めるという名前が付けられたと思っていたようだけれど、私のお祖父さん(または曾祖父だったか)が『留吉』だったのでその名前をもらってつけたのだ

よ』と、長年の胸のつかえが取れたような表情で話された。

◇父子 大学の講義で、その内容ではな

く、豪快な講義ぶり(という言葉があるかどうか知らぬが)で記憶に残っておられるのが、法医学の井関尚栄教授であった。血液型の変化に関与する微生物の話で、群馬に來たしるしにその微生物の名前の最後に *maebashi* とつけたとか言った内容で、ノーベル賞候補にも挙げられたのだと言われていた。学問的な話は頭に残っていないが、ご自分のお名前を黒板に大きく書いて、名前は左右対称がいいのだと言われた。苗字は変えようがないが下の名前だけは、左右対称がよいのだと。そういわれるだけあって先生のお名前はさすがに4文字とも左右対称であった。

私にはすぐに思い出された名前があった。〇〇英夫という高校時代の同級生で教室での座る順は私が1列目の一番先頭で、彼が2列目の先頭であったため、話を交わすことも多かった。勉学も体操も音楽も優秀であったが、相手への気遣いが目立って行き届くバランスの取れた友人であった。ビートルズの素晴らしさを教えてくれた

のも彼であった。

・彼は現役で新潟大学に合格し、私は東京の予備校に行ったが五月連休にはもう帰省していた。長姉が居合わせるに『勉強をさせてもらうために東京に行っていて、そんなにたびたび帰ってくるもんじゃない』とたしなめられたが、お小遣いは出してくれた。

・何回目かの帰省の時、家の玄関から出てきた50歳代の男性とぼったり出会った。まじまじと私の顔を見つめるので、私も軽く睨みつけるようにして会釈してすれ違った。

・初対面だったその人は中学校に新しく来られた校長先生で私の父がPTA会長をしているときのことだったので打ち合わせに時々寄られることがあった。この日もその帰りだったのでした。

・家に入ってから、母がそのことを告げた。

実はこの方こそ、〇〇君の父親で、〇〇君は大学入学して1か月、鉄道事故で亡くなってしまったのでした。ご自分の息子と机を並べて勉強して

いた子だと思えばまじまじとわたしの顔を覗きこむのは人情で、やむを得なかっただろうと、今でもお父さんには申し訳なかったと思っている。

父と母には、息子さんが生まれたとき〇〇君の母親の実家が運命判断などをやっている家であり、占つてもらったところ、水車の事故で命を落とすといわれ、じつと秘密にしていたのだが、水車の輪とは機関車の車輪のことだったのかと語ったという。

お父さんのお名前は〇〇栄一さんで父子ともお名前が左右対称だったにもかかわらず大きな運命的悲劇を蒙られてしまったのでした。

☆井関先生のことを思い出すたびに高校時代のこの友人のことを偲び左右対称の名前を持った人にも大きなご不運が起きることを考えるのでした。

◆徳川家康 父には姉が四人、兄が二人いた。次兄は親戚で母乳をもらいながらそのまま乳母の家で成長した。長兄は、日露戦争に出征し満州で二十三歳で戦死した。十か月後に父が生まれ、兵隊で死んだ長男の生まれ変わりとして『又兵↓又平』と命名されたが、私たち子供の兄

弟姉妹は、名前の由来を知らなかったもので、人前で親の名前を口に出すのを何となく恥ずかしがった。

・安土桃山時代の豪傑武将『後藤又兵衛』に救いを求めたり、吉川英治著『宮本武蔵』に出現する武蔵の幼馴染の「又八さん」を愛おしんだりした。

・学生時代、弓道の試合で北海道遠征をした折、旅館で父にはがきを書いていたら、先輩にのぞきこまれ、

「おう、お父さんの名前は、文平(ぶんぺい)というのか？」

と聞かれたので

「いや、又平だ」

と答えたら、

『ええーっ？』

と言つてみんな(といつても五、六人)が集まつて来て「へえー」と大笑いした。

千葉勢と仲が良かったので、秘密はすぐ知れ渡り、試合の時には一人の千葉大の先輩は出会うたびに私のことを『又兵衛、又兵衛』と呼び、励ましてくれた。

・その後も同じ名前に出会うことはなかったが、ある時、部活の先輩が『あった、あった』

と大喜びで、伊香保の水沢観音まで私を連れて行った。それは水子を供養するためにお地藏さんを納めた水沢芸妓の悲しい記憶がこもった名前であった。

- ・それから40年余が過ぎて、末の子に孫娘ができた。十二月に前橋東照宮で宮参りをし、そのあとで婿殿のご両親と一緒に食事をした。
- ・東照宮から徳川家康の話になり、手掌紋が升掛(ますかけ)線の人は天下取りになるといいうわれがあるという話になりました。徳川家康の手形が今も残っており、感情線と知能線が一本線になっています。婿さんのお父さんにも私にもその線があつて大いに驚きました。英語では『猿の手の線』と言われているとのことです。

私の場合は、父も同じ手相であつたという話になり、父の話になり、長兄が日露戦役で戦死し、1年後に生まれたので、亡くなった兵隊さんの生まれ変わりとして育てられ、名前も、また(あの亡くなった)兵隊さんが生まれてきたと、『又、兵隊』から

『又平』と名付けられたお話をすると、婿さんのおとうさんはとてもその由来に興味を持たれた。というのは、熊本の出身の親御さんであるが、ご自分の先々代までは先祖代々「又平」を世襲してきたのだということです。体に身震いが起きるほどびっくりしてしまいました。た。「又平」の復権を感じました。

◇父の命名原則 父は四男二女を設けたが、次男、三男に戦死した自分の長男と、子供がいなかった次兄の名前の一字『邦』『常』を取り、命名した。長男の前には一人の男子を出産で亡くしていたので、健康に育つようと『康』の字を長男には付けた。私は、4男、6人兄弟の末っ子となるので、もう番号でも譜っておけばよいと考えてみることもされなかつたのだろう。父は届け出の「締め切り」間際になつてあわてて、学校に出かける準備をしていた長姉に付きまとい、姉はカバンに手を突っ込んで纏んで取り出した国語辞典から『典』の字に『夫』とでも付けたらどうですかね、とこれが私の名前になつたのだとのこと。

◆命名「与」の意味 長姉は祖父や近所のお年寄りにかわいがられたという。名前に「与」の字が入り、「くみ」と発音した。

人に与えるだけの一生だつたと思つたであろう。姉はしばしば「なぜこのような名前をお爺様は私につけてくれたのだろうか？」

- ・私にまで真顔で尋ねたことがあつた。
- ・昨年亡くなる数日前に訪ねた時にも、疑問は解けていなかった。

与えるだけの意味だつたとしても、乞食していただくだけの人生よりはよいと考えたのかもしれない。「くみする」というのも与党の様で覇気がなく気に入らない。

- ・今回この文章を書くので思いを巡らしている時にふと思つた。少なくとも私には『私に名前を与えてくれた人』、また『父に代わつて命名をする役目(与あずか)』、という意味が込められていたのかもしれない。
- ・戦後のごたごたの中で、いろんなもの判断に家族が困つていた時、姉が筋道、道理を立てて判断を下す場面に立ち会うことが幾度となくあつた。

◇戒名 伯父であり、父の養父となつた人から『常』の字をもらつた三兄は六十九歳で不完全燃焼の人生を足早に駆け逝つた。スポーツ万能で一番長い付き

合いだったこの兄について甥や姪に言い残しておきたい思い出がいつばいある。しかし、菩提寺で書いてくれた戒名が全てを語ってくれていた。

俊傑典常居士

兄の『常』の文字と私の『典』の文字が、図らずも仏壇の中で離れずに戒名となっていたのであった。

